

取扱説明書

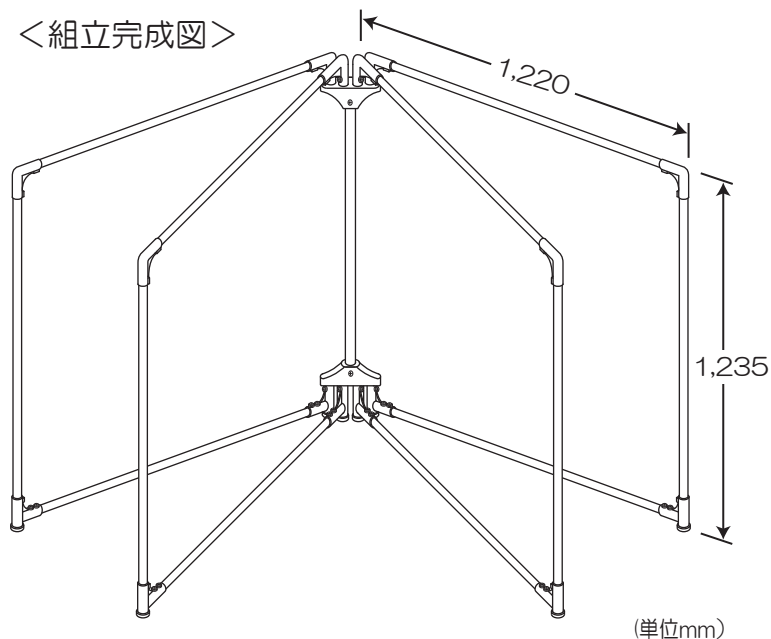
ステンレス巻きパイプ

扇形 25 ふとんほし

4枚干しタイプ

品番：F C 1 - 4 T

＜組立完成図＞



(単位mm)

モリ工業株式会社

大阪市中央区難波 5-1-60 ☎ 06-6635-0204



日本製

使用上のご注意

- ご使用前に、布で一度拭いて下さい。
- 耐荷重（均等に干せる重さ）の範囲内で使用して下さい。
- 荷重は均等にかけ、急激にかけないで下さい。破損の心配のあるものや、危険なものはかけないで下さい。
- 十分な強度のある平坦な場所で、全体にバランス良く干して下さい。
- 風の強い日の使用は、お避け下さい。
- 使用目的以外の遊戯器具等として使用しないで下さい。又、ぶら下がったり、ゆすったりしないで下さい。
- ふとんを干したまま、移動しないで下さい。
- 火や熱いもののそばに置かないで下さい。
- 組立後も時々、ネジや差し込み部分のゆるみがないか点検して下さい。
- 屋外での保管や放置はお避け下さい。
- 劣化や破損により、製品に異常が生じた場合や、表面のステンレスがはがれた場合は危険ですので、使用しないで下さい。



ぶら下がらないこと



強風時使用禁止



穴部分危険



差し込み時、指づめ注意

お手入れ

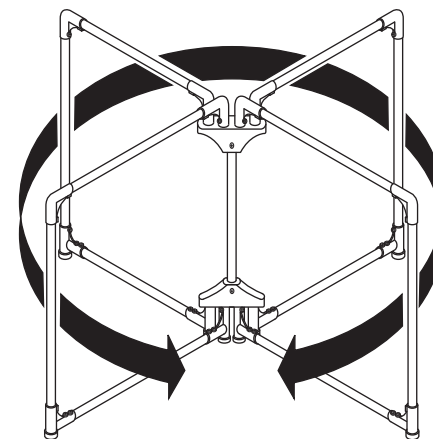
- 定期的に、から拭きして下さい。
- 汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤（塩素系洗剤や酸性洗剤は使用しないで下さい。）で汚れを落とし、水でよく洗い流して下さい。
- ステンレスは、鉄粉や塩分が付着して“もらいサビ”を起こすことがあります。早期なら、やわらかい布に、ステンレス用クレンザーを付けてこすると、簡単に取ることができます。

品質表示

材 質	ステンレス巻きパイプ 〔・パネ性スチール材〕 〔・ステンレス〕 樹脂
パイプ径	φ25 mm, φ29 mm
寸 法	幅 1220×4枚 × 高さ 1235 mm 収納時：幅 1220× 奥行 165× 高さ 1235 mm
耐 荷 重	均等に干せる重さ 1 枠あたり 5kg まで。

使用方法

- 組み立てられた枠の前支柱を持って、左右に広げ、扇状にして使用します。
- 収納するときは、支点パイプを軸に枠を回転させて、束ねて下さい。



＜※裏面も必ずご覧下さい。＞

組立方法

⊕ドライバーを準備して下さい。

●組立時の注意事項

- ・組立は水平な場所で、床面にキズが付かないように、あて布や敷物を敷いて行って下さい。
- ・パイプの先端は危険ですので、絶対に触れないで下さい。
- ・パイプの差し込み時は指づめに注意して下さい。
- ・手袋（軍手）をして、組立て下さい。

セット内容 組立前に必ず部品をお確かめ下さい。

NO	品 名	数	形 状
①	上パイプ	4	
②	下パイプ	4	
③	支点パイプ	1	
④	前支柱	4	
⑤	タッピンネジ	16	呼び径5×12mm

1 ③支点パイプのネジ頭を内側にして、②下パイプに奥までしっかりと差し込み、⑤タッピンネジで固定します。

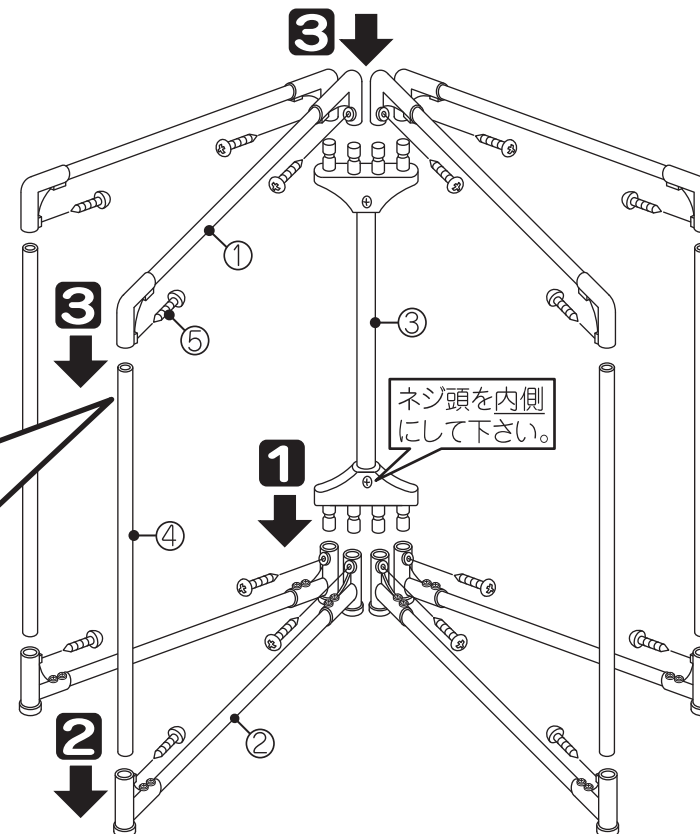
2 ④前支柱を②下支柱に奥までしっかりと差し込み、⑤タッピンネジで固定します。

3 ①上パイプを、③支点パイプおよび④前支柱に、奥までしっかりと差し込み、⑤タッピンネジで固定します。

4 最後にもう一度、差し込み部分が奥まで差し込まれ、ネジでしっかりと固定されているか、また、支点部分がスムーズに回転するか、確認して下さい。

3 まず、こちらの④前支柱側から、少し差し込みます。次に③支点パイプ側を差し込み、両側を奥まで差し込んで、⑤ネジで固定して下さい。

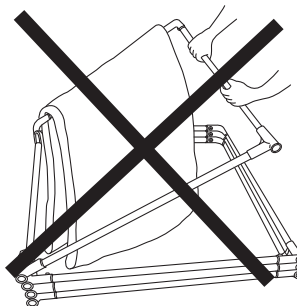
※グラツキ防止の為、ネジはしっかりとネジ込んで下さい。
(少し固めの設計になっています。)



⚠ ご注意

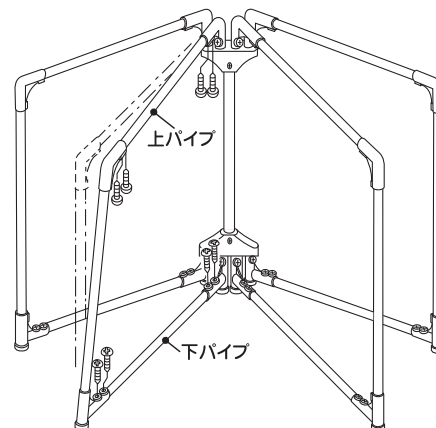
★耐荷重は、1 枠あたり平均に干せる重さ5kg までです。
(ムリな荷重は、お避け下さい。)

★風等で転倒した場合は、必ず布団を全て取り外してから全体を持ち、ゆっくりと起こして下さい。
布団を掛けたままや、1 枠だけを持ってムリに起こすと、干し枠の形状が変形し、干せなくなることがあります。



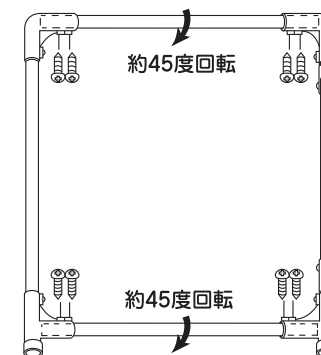
★転倒等により、枠組みが変形した場合は、下記の要領で組み直して下さい。

1 変形した枠の上・下パイプを固定しているネジをゆるめて下さい。



2 上・下パイプを約45度回転させ、左右が平行になるようにして、再びネジを締め直して下さい。

★枠組が変形していないか、確認してから、使用して下さい。



<※裏面も必ずご覧下さい。>

(181029)